

■ 児童養護施設における行動分析

…人の行い(行動)には意味がある…

児童の課題行動の解決に対して、その行動に主眼をおいて、その法則や環境事象(刺激)要因を分析していく。それ故に感情論的な抽象的な概念に囚われず、表出された現象を分析していく手法です。

例えば、空腹になり食事をすると満腹になる。これは、満腹になるために食事をするという観点から行動随伴性(行動と直後の環境変化との関係)と呼ばれています。行動の頻度を増加される要因を「好子」と表現し、行動の頻度を減少させる要因を「嫌子」と表現します。また、行動の頻度が上がる現象を「強化」と表現します。

人は、この行動随伴性によって、行動を制御されている一面があります。その特性を逆手にとって、制御プログラムを書き換える。これは、対応策を導き出し実践していくことによって、課題行動を解決していくことです。

行動分析学は、福祉の世界では、自閉症児や ADSL、学習障害等への対応策として応用されていますが、教育・ビジネス・スポーツ・医療・介護等の分野でも活用されています。

児童養護施設において、ケース会議等で行動分析的内容も含まれていますが、系統的に整理する作業は成されておらず、曖昧な状態で、実践に生かされることは稀と言えるでしょう。

しかし、昨今の児童養護施設では、自閉的傾向、注意欠陥多動性障害(AD/HD)、学習障害(LD)等の特性を持った児童も少なくなく、行動分析的手法の必要性が生じてきていると言えます。

1. 児童の行動に対して 5W1H を明確にする。

いつ(When)

年月日・時間帯・季節・生活プログラム・イベント

どこで(Where)

環境要因(施設内・学校・外出時他)

誰が(Who)

年齢・性別・知的能力・発達段階(阻害要因も見極める)・措置理由

保護者との関係・職員との関係・児童(友人他)との関係・学校での人間関係

生活環境の遍歴・家庭環境・児童養護施設環境・学校環境・地域環境

一時保護での所見・心理療法士の所見・担当職員の所見・教師の所見

なにを(What)

反社会的行動・社会不適応・非社会的行動

なぜ(Why)

行動を引き起こした原因或いは要因

情緒不安定・児童との関係・大人との関係
不平不満
自分の思い通りに行かない
意地になる・意固地になる・頑固
適切な表現が出来ない(不適切な甘え方等)
どうやって(How)
自分の身体を使って・物を使って・口頭で・他人を利用して

2. 支援者の支援内容を明確にする。

対応(Correspondence)

職員単独・職員複数(チームワーク)・児童の協力
行動での注意、叱責・温和な言葉掛け・反響させる
対応の時間(分単位)
指示・命令・身体的接触
手本を模倣させる

結果(Result)

理解度(学習能力)・反省態度・謝罪
反発・反抗
対応者による態度の変化

3. 情報の分析

情報は、児童を中心に置いた集合体として捉えますが、絡まった糸の塊であり、複合的に複雑に結びついています。それら絡まった情報を一つ一つ解(ほぐ)していくことが分析作業です。その作業を通し、児童の行動の側面・要素を明らかにしていき、対応策を導き出していきます。

児童の行動は、原因や要素によって一過性の場合もありますが、情緒不安・気質・知的能力・ヒステリー等により、周期的、反射的、継続的等、複数回に渡る場合もあります。その様な場合は、行動を数値化し分析していきます。

周期的とは、行動にパターン化が見られればその周期を見極めていきます。
反射的とは、ある類似した言葉・態度、時間や場所、プログラム等の環境要因等により行動が誘発される。その様な場合、原因を見極めれば、行動を緩和することが出来ます。

継続的とは、本人の明確な意志があり、意地になっていたり意固地になっていたりがあり、何度も同じ事を繰り返す状況です。これは、本人の気持ちの部分を整える手伝いをすれば緩和される可能性があります。

4. 応用行動分析による支援

本人にとって気に入らないことがあり、その反応として、壁を蹴る、物を投げる、相手を叩くなどの一連の行動を示す場合があります。環境事象(刺激)に対し「気に入らない」状況が生じ、行動として表現します。この行動は、単一な行動ではなく、幾つかの行動要素が連鎖しています。この行動連鎖を行動要素毎に分解することを課題分析と言います。課題分析を細分化する作業によって、行動の本質が見えてくる場合もあります。

行動には、先に述べた行動随伴性が当てはまる場合が多く、パターン化の傾向が見られます。このパターンをコントロールできれば、こどもの行動を適切な行動へと導くことも可能です。

適切な行動を先行刺激によって導く場合と、適切な行動に有効な強化刺激を与えたり、不適切な行動に対して、抑制するための強化刺激を与えたりすることが後続刺激です。

こどもの行動を分析し有効な強化刺激を導き出し、適切な対応をすることによって、行動をコントロールしていきます。この技術を活用すれば、注意を促したり、叱責したりする場面が減少し、それは、こどもにとっても大人にとっても(+)の効果をもたらすことは明らかです。



5. 行動分析的手法の今後

行動分析的手法は、今後、児童養護施設の分野でも研究・開発していくことは、十分に意義のあることであると考えられます。児童養護施設には、個別対応職員が加算事業として配置されていますが、その職員が専門に扱い、保育士や児童指導員にフィードバックしていくことにより、児童処遇に生かされ、更にケース会議内容の活性化にも繋がります。

参考文献

できる！をのばす 行動と学習の支援 山本淳一・池田聡子
行動分析学入門 杉山尚子

行動分析調査票

| | | |
|-------------------|--------------|----------|
| ふりがな 氏名 | ----- 男・女 | 課題（診断）： |
| 生年月日 | 昭和・平成 年 月 日生 | 年齢： 歳 ヶ月 |
| I Q（検査名／実施日： /H ） | | |
| 心理学的所見 | | |

| | | |
|------------|------------------------------|--|
| 発生日時 | 平成 年 月 日（ ）午前・午後 時 分頃 | |
| 発生場所 | 施設内・学校・外出時他 | |
| 原因 | 行動を引き起こした原因或いは要因 | |
| 課題行動 | 反社会的行動・社会不適応・非社会的行動 | |
| 表現 | 自分の身体を使って・物を使って・口頭で・他人を利用して他 | |
| 職員対応 状況 | | |
| 結果 | 理解度（学習能力）・反省態度・謝罪等 | |
| 対応者 所見 | | |
| 連携 | 児相・教師・心理療法士・医師・ボランティア・地域住民等 | |
| その他 | | |

| | | | | | | |
|---|--|---|-----------------|---|-------------|-------|
| 生育歴調査 | | 番号 号 | 措置日 平成 年 月 日 | | | 経由、紹介 |
| ふりがな 児童氏名 | | 男 女 | 生年月日 | 昭・平 | 年 月 日生 (歳) | |
| 主 訴 | | | | | | |
| 家族等 | | | | | | |
| 住居環境（転居等） | | | | | | |
| 発達状況 出生時 父 歳 母 歳 在胎 週：体重 g 黄疸 正常・軽度・重度 新生児仮死 有 ・ 無 母体の健康状態 その他 | | 発育 定頸（0：3） 座位（0：6） 始歩（1：1） 始語（1：0） 排泄自立 初経 習癖 | | 既往症 ひきつけ 熱性けいれん（5歳前・後） はしか おたふくかぜ 水痘 風疹 喘息 アトピー性皮膚炎 その他 | | |
| アレルギーの内容 | | | | | | |

生育状況

乳児期

・視線の状況 ・笑顔、表情の状況 ・人見知り、あと追いの状況 ・手のかかり具合

・養育環境

中心になる養育者（母、他 ）

幼児前期（3歳前）

・言語の増加 ・生活習慣の獲得、養育者のしつけの態度 ・反抗期の状況 ・特異な行動

・養育環境

中心になる養育者（母、他 ）

幼児後期

・通園の有無（保育所、幼稚園） ・同年齢児童との関係 ・行動の特徴

・養育環境

中心になる養育者（母、他 ）

学童期（小・中学校）

・学力、運動面 ・交友関係 ・通学状況 ・情緒面 ・親子関係（対話の量など）

日常生活能力 各項目について、下記の尺度にそって、1, 2, 3のいずれかの欄に○を記入してください。

- <尺度> 1 できない（一緒についてないとできない。或いは、させたことがない。）
 2 ややできる（できたかどうかの確認が必要。）
 3 できる（自立できている。）

| (洗面) | | 1 | 2 | 3 |
|---------|-------------------------|---|---|---|
| 日常生活能力 | 1 ねり歯磨きを適量つける | | | |
| | 2 歯を全体みがく（前、裏、奥、脇） | | | |
| | 3 うがいをする | | | |
| | 4 顔全体を洗う | | | |
| | 5 顔、手をタオルでふく | | | |
| | 6 コップ、歯ブラシをきれいにしておく | | | |
| (入浴) | | 1 | 2 | 3 |
| 日常生活能力 | 1 入浴の準備をする（用具、着替え、タオル等） | | | |
| | 2 脱いだ洋服をたたんでひとまとめにしておく | | | |
| | 3 身体を流して浴槽に入る | | | |
| | 4 身体全体を洗う（顔、手足、胸、背中、腹） | | | |
| | 5 局部、かかと、耳などの細部を洗う | | | |
| | 6 適量のシャンプーを使って洗髪する | | | |
| | 7 身体を拭く | | | |
| | 8 石鹸、タオル、洗面器等の後始末をする | | | |
| (洗濯) | | 1 | 2 | 3 |
| 日常生活能力 | 1 洗濯機を使用できる | | | |
| | 2 洗濯ばさみ、ハンガーを利用して干す | | | |
| | 3 よく広げて干す | | | |
| | 4 乾いたら取り込み、きれいにたたむ | | | |
| | 5 タンスにきちんと整理できる | | | |
| (清掃) | | 1 | 2 | 3 |
| 日常生活能力 | 1 窓を開ける | | | |
| | 2 ほうき又は掃除機で掃除をする | | | |
| | 3 すみずみまで丁寧にできる | | | |
| | 4 雑巾がけができる | | | |
| (整理整頓) | | 1 | 2 | 3 |
| 日常生活能力 | 1 物を出したら片づける | | | |
| | 2 寝具を片づける | | | |
| | 3 衣類はきちんとたたんでおく | | | |
| | 4 机の上や引き出しの中を片づけておく | | | |
| (起床・就寝) | | 1 | 2 | 3 |
| 日常生活能力 | 1 起床・就寝の時間を守る | | | |
| | 2 寝る前に歯を磨く | | | |
| | 3 寝具をきちんと準備する | | | |
| | 4 就寝前までに明日の準備をする | | | |
| | 5 起床・就寝の挨拶をする | | | |

- <尺度> 1 できない（一緒についてないとできない。或いは、させたことがない。）
 2 ややできる（できたかどうかの確認が必要。）
 3 できる（自立できている。）

| (食事) | | 1 | 2 | 3 |
|-------------|---------------------|---|---|---|
| 日常生活能力 | 1 食前に手を石鹸で洗う | | | |
| | 2 食前、食後のあいさつをする | | | |
| | 3 よく噛んで食べる | | | |
| | 4 食器を手に持って食べる | | | |
| | 5 ご飯とおかずを交互に食べる | | | |
| | 6 姿勢をよくして食べる | | | |
| | 7 汚れた時には口元や手を拭く | | | |
| | 8 食事の後片づけをする | | | |
| | 9 食事の適量がわかる | | | |
| (排泄) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活能力 | 1 トイレに出入りしたときは戸を閉める | | | |
| | 2 排便後、適量の紙でおしりを拭く | | | |
| | 3 身繕いをしてから出てくる | | | |
| | 4 排泄後、手を洗う | | | |
| | * 女の子…生理の処置が出来る | | | |
| (清潔) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活能力 | 1 ハンカチ、ティッシュを所持する | | | |
| | 2 鼻が出たらかむ | | | |
| | 3 髪をとかす | | | |
| | 4 くし、ブラシの後始末をする | | | |
| | 5 爪を切る | | | |
| | 6 手足が汚れたら洗い、濡れたら拭く | | | |
| | 7 衣服が汚れたら洗濯に出す | | | |
| | 8 | | | |
| * 男の子…ひげをそる | | | | |
| (着脱衣) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活能力 | 1 脱いだ衣服を片づける | | | |
| | 2 衣服の裏表、前後を間違えずに着る | | | |
| | 3 季節、場所に応じた衣服を着る | | | |
| | 4 左右間違えずに履物をはく | | | |

生活リズムについて

平日の起床時間 午前 時 分頃

就寝時間 午後 時 分頃

社会生活適応能力 各項目について、下記の尺度にそって、1, 2, 3のいずれかの欄に○を記入してください。

- <尺度> 1 いいえ
2 どちらともいえない
3 はい

| (社会成熟性) | | 1 | 2 | 3 |
|---------|---------------------------------|---|---|---|
| 社会生活 | 1 誰とでも気軽につきあえる | | | |
| | 2 人のあやまちを快く許せる | | | |
| | 3 友達から援助を求められたとき快く引き受けられる | | | |
| | 4 集団の中でいつもひとりぼっちではない | | | |
| | 5 仲間から嫌がられることをしない | | | |
| | 6 自分より年下の人の面倒をみることができる | | | |
| (自己指南力) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活適応能力 | 1 友達や大人から注意されて、すぐ文句を言わない | | | |
| | 2 何でも人の言いなりにならず、善悪を判断できる | | | |
| | 3 うまくいかない時、人のせいにしない | | | |
| | 4 平気で虚言を言わない | | | |
| | 5 軽はずみに気分にかかせて行動しない | | | |
| | 6 自分から進んでやろうとする意欲がある | | | |
| | 7 自分のことを一人で決められず他人に任せようとする態度はない | | | |
| | 8 人の持っている物をすぐ欲しがるようなことはない | | | |
| (経済生活) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活適応能力 | 1 お金の使い方が分かる | | | |
| | 2 お金を計画的に使える | | | |
| | 3 貯金ができる | | | |
| | 4 買い物で適当な物を自分で選べる | | | |
| | 5 お使いを頼んだら、きちんとできる | | | |
| (健康管理) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活適応能力 | 1 具合が悪い時訴えられる | | | |
| | 2 簡単な処置ならば自分で出来る | | | |
| | 3 予防処置がとれる | | | |
| | 4 他人が具合悪そうな時、気に掛ける | | | |
| (その他) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活適応能力 | 1 余暇は、積極的に利用し楽しむ | | | |
| | 2 善悪の判断をして行動できる | | | |
| | 3 言われなくとも節度のある生活ができる | | | |
| | 4 他人のお宅に訪問した時、お行儀良く出来る | | | |
| (集団生活) | | 1 | 2 | 3 |
| 生活適応能力 | 1 指示されたことは指示通り最後までやる | | | |
| | 2 集団の行事・レクリエーションに参加できる | | | |
| | 3 グループのリーダーをつとめることができる | | | |
| | 4 異性に関する異常な興味・関心を示さない | | | |
| | 5 共通の物を大切に扱うことができる | | | |

- <尺度> 1 いいえ
 2 どちらともいえない
 3 はい

| (意志交換能力) | | 1 | 2 | 3 |
|----------|----------------------------------|---|---|---|
| 社会生活適 | 1 朝・夕の挨拶が出来る | | | |
| | 2 呼ばれた時はっきりと返事が出来る | | | |
| | 3 質問に対して適切な応答が出来る | | | |
| | 4 簡単な伝言を伝えることができる | | | |
| | 5 電話が使える | | | |
| | 6 手紙で用を足すことが出来る | | | |
| | 7 目上の人に対してふさわしい言葉遣いが出来る | | | |
| | 8 自分の見たり聞いたりしたことなど話せる | | | |
| | 9 集団の中で話を聞く態度ができており、話の内容も理解できる | | | |
| (社会性) | | 1 | 2 | 3 |
| 応能 | 1 人の前にでるとひどく恥ずかしがることはない | | | |
| | 2 名指しされると答えるし、自ら進んで発言することもある | | | |
| | 3 話をするとき、おどおどすることはない | | | |
| | 4 やれば出来ることは尻込みしない | | | |
| (身辺処理能力) | | 1 | 2 | 3 |
| 力 | 1 衣類・シーツ等の汚れを自分で判断し、洗濯物に出せる | | | |
| | 2 外出用、普段用を区別して管理できる | | | |
| | 3 状況によって適切な掃除が自分から出来る | | | |
| | 4 清潔なものを自分から身につけている (衣類・ハンカチ・靴下) | | | |
| | 5 みだしなみよくしている (爪切り・ひげ剃り・髪) | | | |
| | 6 時と場所に応じた服装が出来る | | | |
| | 7 自分の持ち物の管理が出来る | | | |
| | 8 食事時、姿勢良くマナーに従って食べる | | | |
| | 9 自分の部屋を住みやすく工夫することが出来る | | | |
| (移動能力) | | 1 | 2 | 3 |
| 力 | 1 2～3度行った所なら一人で行ける | | | |
| | 2 初めての所でも一人で行ける | | | |
| | 3 一人で交通機関が使える | | | |
| | 4 自転車に乗れる | | | |

ホームにおける役割、余暇利用、趣味について

今、ホームで本人の役割（お手伝いなど）していることがあれば書いてください。

休みや暇な時、主に何をして過ごしていますか？書いてください。

